



創立以来 10 年続く、鹿児島県立楠集中高一貫教育校「シリーズ宇宙学」

2025年6月5日(木)、宇宙産業人材育成を目指した特別講義・WS(全6回)が開講!

～3年目・2025年度は、宇宙食・生活関連ビジネスを目指す事業者・東京大発スタートアップが新たに参画～

鹿児島県立楠集中高一貫教育校(校長:貴島邦伸、以下「楠隼高」)は、「シリーズ宇宙学」の一環として、宇宙産業人材の育成を目指した特別講義・ワークショップ(2025年6月5日(木)～7月17日(木)・全6回)を実施いたします。

本講義・ワークショップは、2023年度から九州・鹿児島にゆかりある民間企業等と連携しながら実施してきましたが、今年度は、昨年度の全5回から全6回に増やし、ロケット・衛星等の宇宙機のみならず、九州で宇宙食・生活関連ビジネスを目指す事業者、さらに、鹿児島県内企業と衛星データ実証を実施している東京大学発スタートアップも新たに参画いたします。



過去の講義の様子(講義のみならず、小型衛星作りの手順を考えるグループワークも)

具体的には、九州大学発宇宙開発企業で小型レーダー衛星を開発・運用し、地上観測データ提供サービスに挑む(株)QPS 研究所及びパートナー企業、内閣府よりクラウド事業者として初めて「衛星リモートセンシング記録を取り扱う者」として認定を受けた DX 事業を展開する(株)Fusic、JAXA ベンチャーで小型固体ロケット事業を目指す(株)ロケットリンクテクノロジー、来るべき月探査時代に向け宇宙食・生活関連ビジネスを目指す(株)Space Food Lab.、さらには、超小型衛星の製造・運用・データを通じたソリューションビジネスを目指す東京大発スタートアップ・(株)アークエッジ・スペースの全面協力を得て、全6回の特別講義を実施します。

実際に宇宙産業に携わる技術者・研究者等の講義を通じて、生徒が、宇宙産業への理解を深め、今秋以降、自らがテーマを設定した探究活動に取り組むことで、広い視野や好奇心、冒険・探究心、ものづくりの心を育むことを目指します。

楠隼高は、2015年創立以来取り組む「シリーズ宇宙学」の拡充を図ると共に、講義を担当する各社は、自事業の理解増進、次代を担う宇宙産業人材の育成を図り、将来必要となる宇宙産業人材の輩出にも寄与することで、九州で宇宙産業を根付かせ、産業全体も底上げすることにも貢献していきます。

なお、本講義・ワークショップは、2023年3月に内閣府及び経済産業省が選定する「宇宙ビジネス創出推進自治体(S-NET自治体)」に選ばれ、宇宙関連産業への参入支援による新産業創出、アントレプレナーシップ養成にも注力する鹿児島県に加え、スペースサイエンスタウン構想実現を目指す肝付町(宇宙のまちづくり推進課)の支援も得ながら、実施いたします。

**内容・日程** ※日程・登壇者等は、状況に応じて、今後変更となる可能性もあります。

○第0回 2025年5月29日(木) 9:40~10:30

オリエンテーション・「九州から挑む宇宙ビジネス新時代 ~挑戦の連続・宇宙開発と私の25年間~」

(一社)九州みらい共創 代表理事/肝付町 共創ディレクター 上村俊作氏

○第1回 2025年6月5日(木) 9:40~11:30

「JAXA 発スタートアップ・小型固体ロケットビジネスの挑戦」(仮)

(株)ロケットリンクテクノロジー 取締役 CMO/千葉工業大学 教授 和田豊氏

※JAXA 発スタートアップ・肝付町との包括連携協定締結大学

○第2回 2025年6月12日(木) 9:40~11:30

「九州発小型衛星・ものづくりの挑戦」(仮)

(株)QPS 研究所 執行役員/開発部長 上津原正彦氏 ※九州大学発 SU(2023年12月上場)

※パートナー企業:オガワ機工(株)副社長伊藤慎二氏・(株)昭和電気研究所主幹技師 古賀圭氏

○第3回 2025年6月19日(木) 9:40~11:30

「九州発宇宙ビジネスの挑戦」(仮)

(株)QPS 研究所 代表取締役社長 CEO 大西俊輔氏/ファウンダー 八坂哲雄氏

/営業本部ソリューション事業部長 平田大輔氏 ※九州大学発 SU(2023年12月上場)

○第4回 2025年7月3日(木) 9:40~11:30

「九州発宇宙食・生活関連ビジネスの挑戦」(仮)

(株)Space Food Lab. 取締役 浅野高光氏 ※福岡県久留米市にて創業(2023年12月)

○第5回 2025年7月8日(火) 9:35~11:15

「超小型衛星・データによるソリューションビジネスの挑戦」(仮)

(株)アークエッジ・スペース 代表取締役 CEO 福代孝良氏

※東京大学発スタートアップ/鹿児島県地域課題解決型衛星データ利活用実証パートナー企業

○第6回 2025年7月17日(木) 9:35~11:15

「DX(AI・IoT・クラウド)企業による宇宙ビジネスの挑戦」(仮)

(株)Fusic 代表取締役社長 納富貞嘉氏 ※九州大学発スタートアップ(2023年3月上場)

## 対象

楠隼高等学校1年生 約60名

肝付町関係者(希望者による)/鹿児島県宇宙ビジネス創出推進研究会メンバー(希望者による)

※取材をご希望の方は、大変お手数ですが、事前(前日まで)に、鹿児島県立楠隼高等学校(大山教頭・久保田教諭)まで連絡をいただければ幸いです。

## 関係者コメント

### ◆鹿児島県立楠隼中高一貫教育校 校長 貴島邦伸

本校の特色ある教育活動「シリーズ宇宙学」では、好奇心、冒険心、ものづくりの心を育て、自分の夢や未来に挑戦しようとする生徒を育成しています。高校では中学校3年間で学習してきたことを踏まえて自らテーマを設定し探究活動していますが、昨年度に引き続き、株式会社QPS 研究所を始めとした関係団体・機関のご協力をいただき、主に宇宙開発利用分野に関する講義やワークショップを受けることによって、自らの探究テーマ等を具体的にイメージするとともに、宇宙ビジネス分野に対する興味関心につながるものと期待しています。

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/nansyun/>



### ◆株式会社ロケットリンクテクノロジー 共同創業者／千葉工業大学 教授 和田豊

学生時代、内之浦宇宙空間観測所にて観測ロケットや M-V ロケットの打ち上げに立ち会いました。成功に向け、実験メンバーが一丸となって打ち上げ作業に取り組む熱量を間近で感じ、私もロケットを研究開発し自ら作ったものを宇宙に届けたいと強く思うようになりました。大学を卒業後、大学教員として新しいロケットの研究に取り組み、低コストで量産可能な新しい固体ロケットに取り組むロケットリンクテクノロジー社の設立に至りました。起業に至るモチベーションは学生時代に肝付町から与えていただきました。本プログラムの推進が、多くの若者が宇宙を目指すきっかけとなり、肝付町を中心とした日本の宇宙産業の成長に強く寄与することを願っています。

<https://rocketlink.co.jp/>



### ◆株式会社 QPS 研究所 執行役員 開発部長 上津原正彦

私たちの衛星開発には高い専門性を持ったものづくりのプロフェッショナルが多数関わっています。その中から機構系と電気系を担当するパートナー企業のお二方とともに今年も講師を担当させて頂けることを大変嬉しく思います。この授業では衛星の作り方に加えて、開発の現場で起きることやエンジニアが大事にしているものづくりの姿勢などを臨場感溢れる体験談とともにお伝えしておりますが、授業後に生徒の皆さんからたくさんの質問やコメントをいただくことで宇宙開発への熱量を感じ、それが私たちへの刺激にもなっています。この特別講義が生徒の皆さんが将来この宇宙業界に関わることになるきっかけの一つとなれば幸いです。

<https://i-qps.net/>



### ◆株式会社 QPS 研究所 代表取締役社長 CEO 大西俊輔

今年も楠隼高校の皆さまに向けた特別授業の機会をいただくこと、大変光栄に思っております。QPS 研究所では今回で3回目となりますが、生徒の皆さんの熱心な姿勢と真剣なまなざしに、私自身大きな励みとエネルギーをいただいています。急速に進化する宇宙開発・宇宙ビジネスの世界において、今の技術や知見を次の世代に伝えていくことは、私たち現役世代に課せられた大切な使命のひとつだと感じています。皆さんが、未来の科学技術の発展を担う存在となることを心から願い、私自身もワクワクしながら心を込めて授業に臨みたいと思います。

<https://i-qps.net/>



### ◆株式会社 Space Food Lab. 取締役 浅野高光

私はこれまで、マーケティングや経営を学びながら、暮らしに関わる新しい事業を創るベンチャーの世界に身を置いてきました。そして今、「宇宙での生活」を実現するベンチャーに挑んでいます。近代史を振り返ると、産業革命、バイオテクノロジー革命、IT革命と、およそ50年ごとに私たちの暮らしを大きく変える「パラダイムシフト」が起きています。それぞれの時代には、エネルギー、遺伝子、インターネットという“インフラ”が革命の駆動力となりました。次の50年、つまり2050年に向けて、私は「宇宙パラダイム」が訪れると考えています。これはロケットや衛星だけでなく、宇宙での衣食住や健康といった“生活”に関わる分野まで広がる、壮大な変革です。その時代のある中心にある“パラダイムドライバー”とは何か？それをつかむことが、未来を創る鍵です。みなさんと一緒に、その問いを考えられるのを楽しみにしています。



<https://spacefoodlab.space/>

### ◆株式会社アークエッジ・スペース 代表取締役 CEO 福代孝良

私たちは、東京大学において世界に先駆けて開発・運用に成功したキューブ衛星を利用した宇宙ビジネスに取り組んでいます。衛星は、地上の通信や電力などのインフラが利用できない場所の状況を見えるようにし、繋げることができます。そのため海や離島、さらには森林、インフラの整っていない途上国などで役立ちます。私はアマゾン地域の森林研究やアフリカの途上国支援などに携わり宇宙利用でより良い未来が切り拓けると感じ、宇宙ビジネスを始めました。鹿児島は、森と海、島々がある豊かな土地です。ここから世界を変える最先端の課題解決の宇宙利用モデルを作り出すことを皆さんと一緒に考えていければ嬉しいです。



<https://arkedgespace.com/>

### ◆株式会社 Fusic 代表取締役社長 納富貞嘉

大好きな九州の地、鹿児島において、宇宙を専攻する高校があること誇らしく思います。昨年も講義を担当させていただきましたが、学生の純粋な眼差しや、素朴な質問に私自身が大きな気付きを得るとともに初心に戻る思いでした。IT企業である当社の宇宙業界への取り組みはもちろんのこと、学生時代に起業した自身の経験も踏まえて、起業に至った経緯や思い、面白さ、さらには大変さもお伝えしたいと思います。学生の中から、一人二人でも起業に興味を持ち、将来の日本の宇宙産業を担う人材が出てくることを願っています。



<https://fusic.co.jp/>

### ◆一般社団法人九州みらい共創 代表理事/肝付町共創ディレクター 上村俊作

2024年9月、宇宙業界で培った経験・人脈等を活用し、九州の未来のために恩返しをしたという思いから、九州にゆかりある宇宙業界の仲間と共に、一般社団法人九州みらい共創を立ち上げました。私が高校まで生まれ育った鹿児島の地で、次代を担う生徒のため、開校以来10年続けてきた「シリーズ宇宙学」の特別講座を関係者の協力のもと、実現できることを大変喜ばしく思います。生徒にとって身近な九州・鹿児島に関係しながら宇宙ビジネスに果敢に挑戦する講師陣等の講義を通じて、九州・鹿児島の地域資源・ポテンシャルを再発見すると共に、講師陣等の思い・考えに直接触れることで、今後のキャリア形成の助け、ヒントになれば嬉しいです。



<https://qsbc.jp/association/>

## ◆肝付町長 永野和行

肝付町は日本の宇宙開発とともに歩んでまいりました。数多の研究者・技術者が挑戦し、成功と失敗を繰り返しながら技術や知見を積み上げてきた肝付の地で、宇宙教育拠点化を目指し、2024年度に全国3大学(千葉工大、九工大、和歌山大)との連携協定を締結いたしました。2025年5月、千葉工業大学の打上げ実験が行われ、無事成功いたしました。これは、本町が目指す、様々な大学等が集える共同実験の場としての、最初の一步として大きな意味のあるものと思っております。今後、学生ロケット打上げなどを通じて、本町に多くの大学生が足を運ぶこととなるでしょう。未来の宇宙開発や研究、そして宇宙関連産業に貢献できる人材が育つことを大いに期待しながら、楠隼高に加え、町内の宇宙教育活動もより促進されるよう、引き続き、若者の学びを積極的に支援してまいります。



## ◆鹿児島県商工労働水産部 部長 北村貴志

世界的に宇宙産業の市場拡大が続いており、全国で唯一、2つのロケット打上げ施設がある鹿児島県においても、宇宙産業の成長力を地域経済に取り込んでまいります。本年10月には、宇宙ビジネス交流イベント「九州宇宙ビジネスキャラバン」を鹿児島県において開催し、多様な関係者との交流・情報交換を行い、宇宙関連企業に鹿児島に関心を持ってもらうとともに、県内企業の参入促進を図りたいと思います。こうした取組を持続的かつ加速度的に推進していくためにも、楠隼高における宇宙産業人材の育成を目指した特別講義等の実施を通じて、本県の宇宙産業を担う次世代の人材育成・輩出に繋がることを期待しております。



## ■お問い合わせ先:

- ・鹿児島県立楠隼中高一貫教育校  
大山教頭・久保田教諭(0994-65-1192 / [nansyun@edu.pref.kagoshima.jp](mailto:nansyun@edu.pref.kagoshima.jp))
- ・株式会社ロケットリンクテクノロジー  
代表メールアドレス [contact@rocketlink.co.jp](mailto:contact@rocketlink.co.jp)
- ・株式会社 QPS 研究所  
有吉・久原(080-4344-5423 / [press@i-qps.com](mailto:press@i-qps.com))
- ・株式会社 Space Food Lab.  
菊池(090-7802-3792 / [y.kikuchi@spacefoodlab.space](mailto:y.kikuchi@spacefoodlab.space))
- ・株式会社アークエッジ・スペース  
川勝(090-2553-6739 / [kawakatsu-takayuki@arkedgespace.com](mailto:kawakatsu-takayuki@arkedgespace.com))
- ・株式会社 Fusic  
お問い合わせフォーラム <https://fusic.co.jp/contact>
- ・一般社団法人九州みらい共創  
代表メールアドレス [secretary@qsbc.jp](mailto:secretary@qsbc.jp)
- ・肝付町宇宙のまちづくり推進課  
田畑・上籠(0994-65-2511 / [space@town.kimotsuki.lg.jp](mailto:space@town.kimotsuki.lg.jp))
- ・鹿児島県  
商工労働水産部産業立地課新産業創出室 川井田・上久保  
(099-286-2897 / [shin-sousyutsu@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:shin-sousyutsu@pref.kagoshima.lg.jp))  
教育庁高校教育課 田淵  
(099-286-5374 / [kou-sinkou@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kou-sinkou@pref.kagoshima.lg.jp))